

評価シート（年度評価）

名古屋市長寿荘の管理運営状況

1 基本情報 <所管局:健康福祉局>

指定管理者	社会福祉法人八起社		
主な業務内容	養護老人ホームの運営		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和15年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	○	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
適切な管理運営が実施された。毎月、転倒事故やヒヤリハット事例の分析を行い、手すりの設置などを通じて事故防止に努めたほか、嘱託医や協力病院との連携により入所者の健康管理体制の充実を図った。また、嗜好調査結果を反映した食事提供や外出支援を実施するとともに、「はいかい高齢者搜索支援事業」の活用を進めるなど、入所者の生活の質や安全性の向上に取り組んだ。クラブ活動等の充実により、入所者の生きがいがいづくりに努めた。

評価シート（年度評価）

名古屋市長寿楽荘の管理運営状況

1 基本情報 <所管局:健康福祉局>

指定管理者	社会福祉法人愛生福祉会		
主な業務内容	養護老人ホームの運営		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和6年4月～令和16年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	職員の配置基準を満たしていない月があった。
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	△	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	○	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
職員配置以外については適切な管理運営が実施された。服薬支援や受診日の確認、声掛けを行うなど、入居者の健康管理の維持に努めたほか、身元保証サービスの活用検討や転所先の拡充、社会資源の活用を通じて、入居者一人ひとりの生活課題に応じた支援を行った。また、法人内外の研修への参加により職員の資質向上を図るとともに、外部の行事への参加や選択食等の実施など、入居者の交流機会や満足度の向上に取り組むことができていた。

施設の現状

養護老人ホーム(2か所)

※寿荘、寿楽荘をまとめています。

施設 の 現 状	施設概要							
	養護老人ホームは、老人福祉法第11条第1項第1号の措置に係る者を入所させ、養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする施設です。 (定員:寿荘 250名、寿楽荘 120名) 養護老人ホームは、高齢者の生活の場である入所施設であり、一度入所されるとかなり長期間在所するのが通例となっています。 こうした入所者に対する処遇の継続性を確保するためには、同一の運営法人に一定長期間の運営をお願いすることが必要であると考え、指定管理期間の原則である4年では短すぎるため、10年の指定管理期間としています。							
	市の収支状況(千円)（令和7年度決算額）							
		支出			収入			
	施設	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計
	寿荘	488,279	5,894	494,173	0	105,511	388,662	494,173
	寿楽荘	249,107	0	249,107	0	50,644	198,463	249,107
	特記事項							
	支出のうち「その他」欄は、各施設に係る工事費。							
	管理 運 営 指 標 の 状 況	取組状況						
指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
年度末における入所者数(寿荘)		人	249	247	250	250		
年度末における入所者数(寿楽荘)		人	116	115	109	97		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載